

鋁工業指數參考図表集  
(2024年3月速報)

2024年4月30日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

# 2024年3月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	101.1	100.0	102.7	106.7
前月比	3.8%	4.3%	1.1%	7.1%
指数水準	2023.12 105.0以来  I 2018.3 116.3 II 2018.10 116.1 III 2018.12 115.2	2023.12 104.4以来  I 2018.3, 2019.5 116.5 II 2018.4 116.2 III 2018.5, 10 115.7	2023.12 102.7以来 (超)2023.11 103.6以来  I 2023.7 105.7 II 2023.5, 6 105.5 III 2020.1 105.0	2020.6 111.5以来  I 2020.5 119.1 II 2020.6 111.5 III 2020.4 110.7
前月比の動き	3か月ぶり+ (2023.12以来)	3か月ぶり+ (2023.12以来)	2か月連続+ (2024.2~当月)	2か月ぶり+ (2024.1以来)
前月比幅	2022.6 5.0%以来  I 2020.7 6.6% II 2021.11 5.5% III 2022.6 5.0%	2021.11 6.4%以来  I 2021.11 6.4% II 2020.7 4.9% III 2024.3 4.3%	2023.4 1.3%以来  I 2021.9 2.1% II 2022.2 1.8% III 2021.11, 2022.9 1.7%	2020.5 7.6%以来  I 2020.4 13.4% II 2020.3 10.2% III 2020.5 7.6%
前年同月比(原指数)	-6.7%(109.4)	-7.1%(109.7)	-0.9%(99.7)	6.4%(96.4)
前年同月比の動き	5か月連続- (2023.11~当月)	3か月連続- (2024.1~当月)	4か月連続- (2023.12~当月)	31か月連続+ (2021.9~当月)
前年同月比幅	2020.9 -9.7%以来  ①2020.5 -25.9% ②2020.6 -18.1% ③2020.7 -16.2%	2020.9 -9.7%以来  ①2020.5 -27.4% ②2020.4 -17.0% ③2020.6 -16.8%	2024.2 -1.7%以来  ①2021.1 -10.0% ②2021.4 -9.9% ③2021.3 -9.7%	2023.8 9.2%以来  I 2020.5 38.5% II 2020.4 25.6% III 2020.6 21.5%

1) I～IIIは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 2024年3月の鉱工業生産の基調判断

## 「生産は一進一退ながら弱含み」

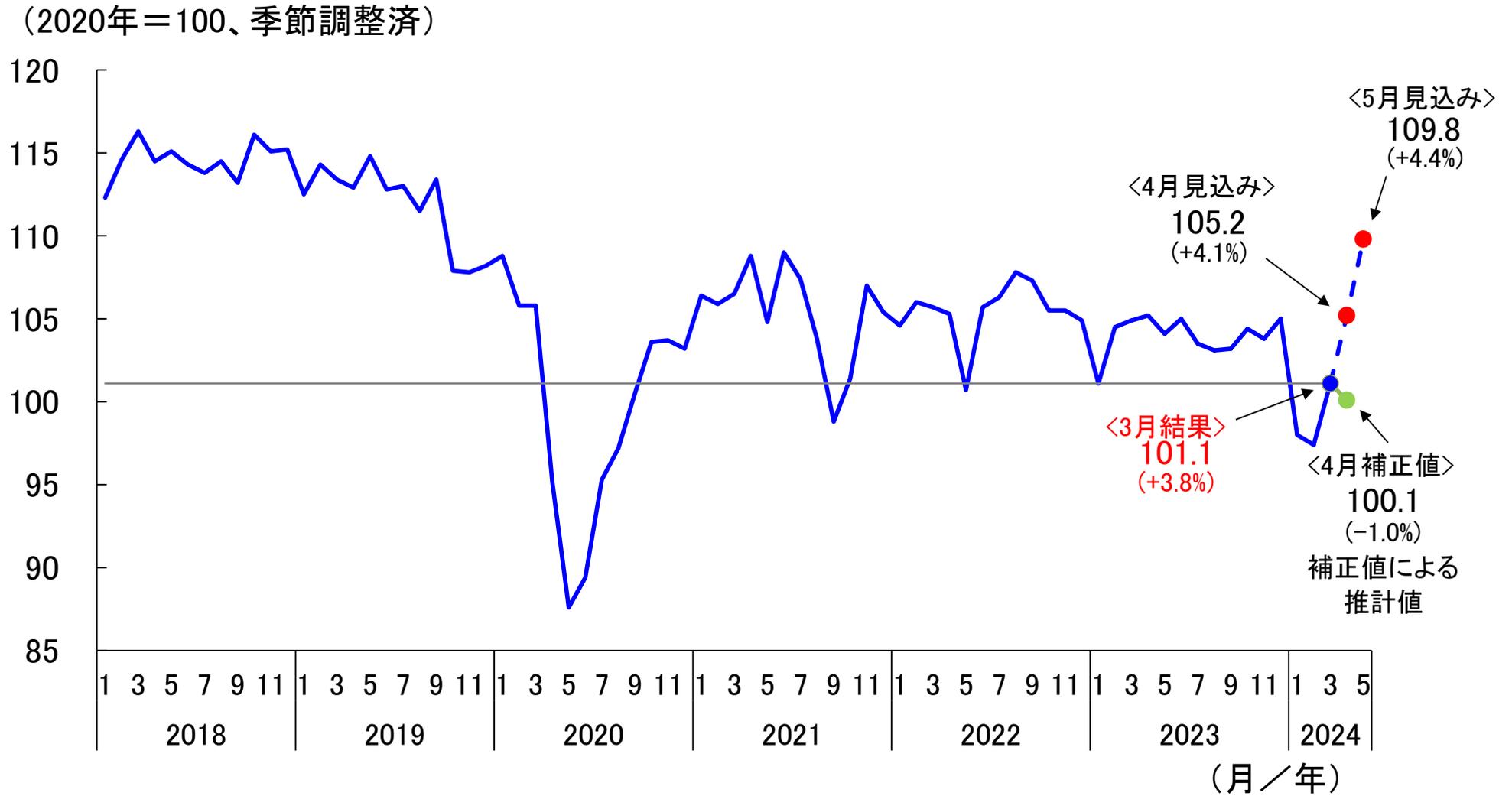
### 基調判断の推移

2020年4月～5月	(↓)	「生産は急速に低下している」
2020年6月	(↑)	「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」
2020年7月	(→)	「生産は持ち直しの動き」
2020年8月～2021年7月	(↑)	「生産は持ち直している」
2021年8月～10月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2021年11月～2022年3月	(↑)	「生産は持ち直しの動きがみられる」
2022年4月	(↓)	「生産は足踏みをしている」
2022年5月	(↓)	「生産は弱含み」
2022年6月～7月	(↑)	「生産は一進一退」
2022年8月～9月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2022年10月	(↓)	「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
2022年11月～2023年2月	(↓)	「生産は弱含み」
2023年3月～6月	(↑)	「生産は緩やかな持ち直しの動き」
2023年7月～12月	(↓)	「生産は一進一退」
2024年1月～	(↓)	「生産は一進一退ながら弱含み」

(注) 「↑」前回の基調判断から上方修正、「↓」前回の基調判断から下方修正、「→」表現変更

# 鋳工業生産指数の動向と先行き

・ 2024年3月の鋳工業生産指数は、101.1(前月比3.8%)と3か月ぶりの上昇。



(注) 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2020年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標  
 (注) 補正值は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鋳工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したもの

# 2024年3月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2024年3月の鉱工業生産指数は、101.1（前月比3.8%）と3か月ぶりの上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
<b>【上昇方向に寄与】</b> 鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	9.6%	1.13%pt
	品目	普通乗用車	8.3%	0.43%pt
		普通トラック	27.5%	0.19%pt
	2位の業種	生産用機械工業	11.6%	0.98%pt
	品目	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	523.4%	0.49%pt
		半導体製造装置	14.0%	0.41%pt
3位の業種	電子部品・デバイス工業	9.2%	0.52%pt	
品目	モス型IC（メモリ）	35.3%	0.19%pt	
	アクティブ型液晶パネル（大型）	53.2%	0.11%pt	
<b>【低下方向に寄与】</b> 鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	-2.5%	-0.16%pt
	品目	アルミニウム板製品	-15.6%	-0.03%pt
		普通鋼鋼帯	-5.1%	-0.02%pt
	2位の業種	無機・有機化学工業	-2.5%	-0.12%pt
	品目	ポリエチレンテレフタレート	-33.6%	-0.03%pt
		エチレン	-10.9%	-0.03%pt
3位の業種	その他工業	-1.6%	-0.11%pt	
品目	ボールペン	-9.9%	-0.02%pt	
	金属製家具	-6.6%	-0.01%pt	

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

# 2024年3月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

## <全体>

		品目名	前月比	寄与度
鉱工業生産を 上昇方向に 引っ張った3品目	1位	航空機用発動機部品	48.8%	0.50%pt
	2位	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	523.4%	0.49%pt
	3位	普通乗用車	8.3%	0.43%pt
鉱工業生産を 低下方向に 引っ張った3品目	1位	ボイラ部品	-54.5%	-0.12%pt
	2位	水管ボイラ	-64.1%	-0.10%pt
	3位	セパレート形エアコン	-14.7%	-0.10%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

## <財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与度
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)	7.9%	1.23%pt
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	523.4%	0.49%pt
		半導体製造装置	14.0%	0.41%pt
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.1%	1.00%pt
		航空機用発動機部品	48.8%	0.50%pt
		モス型IC(メモリ)	35.3%	0.19%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	2.7%	0.55%pt
		乳液・化粧水類	6.7%	0.07%pt
		合成洗剤	7.7%	0.05%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	4.7%	0.32%pt
		普通乗用車	8.3%	0.30%pt
		軽乗用車	8.8%	0.04%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.0%	-0.06%pt
		セメント	-3.1%	-0.02%pt
		プラスチック製建材	-7.6%	-0.02%pt

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

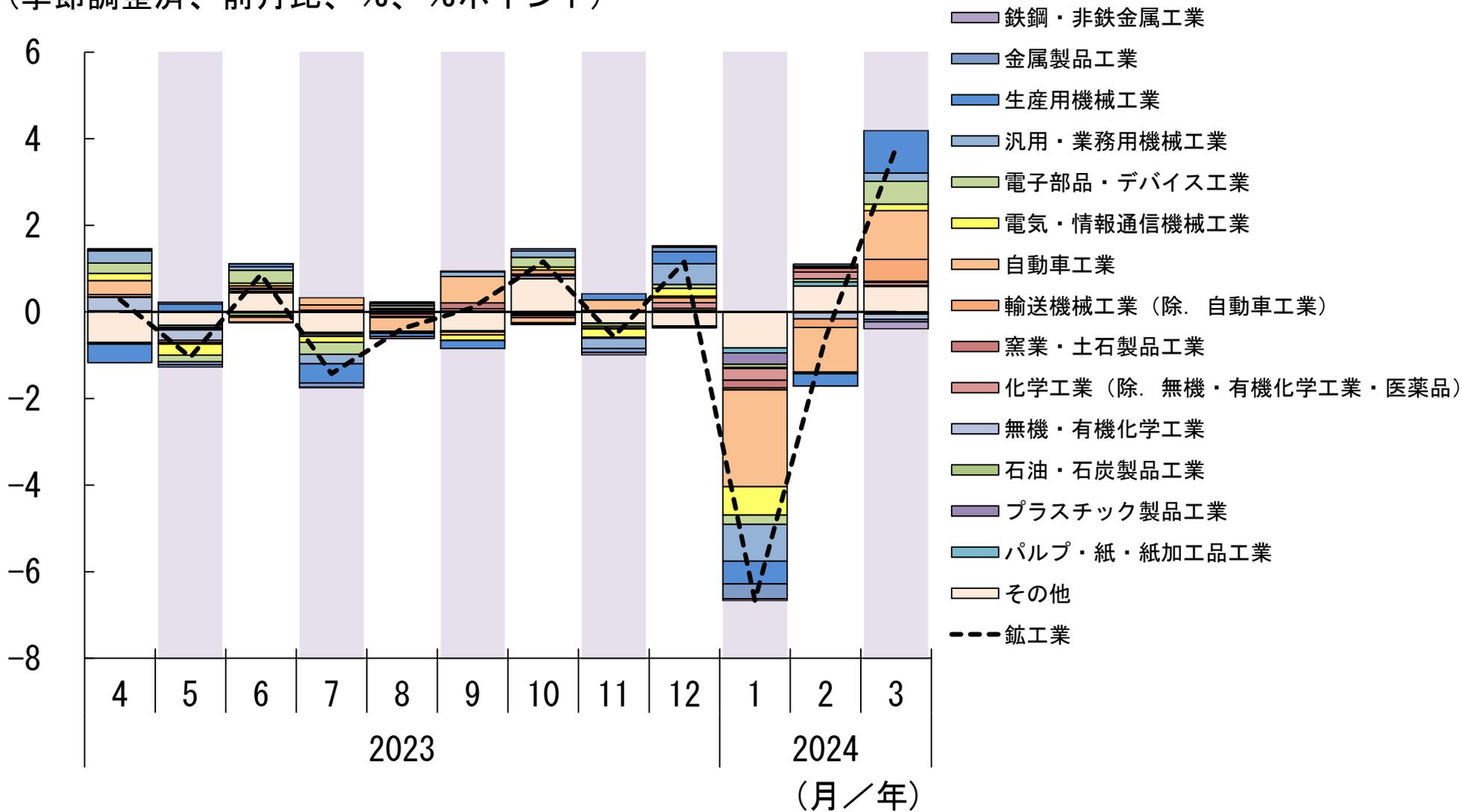
寄与度：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

# 鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2024年3月の生産指数は、鉄鋼・非鉄金属工業などが低下したものの、自動車工業などが上昇したため、前月比3.8%の上昇。

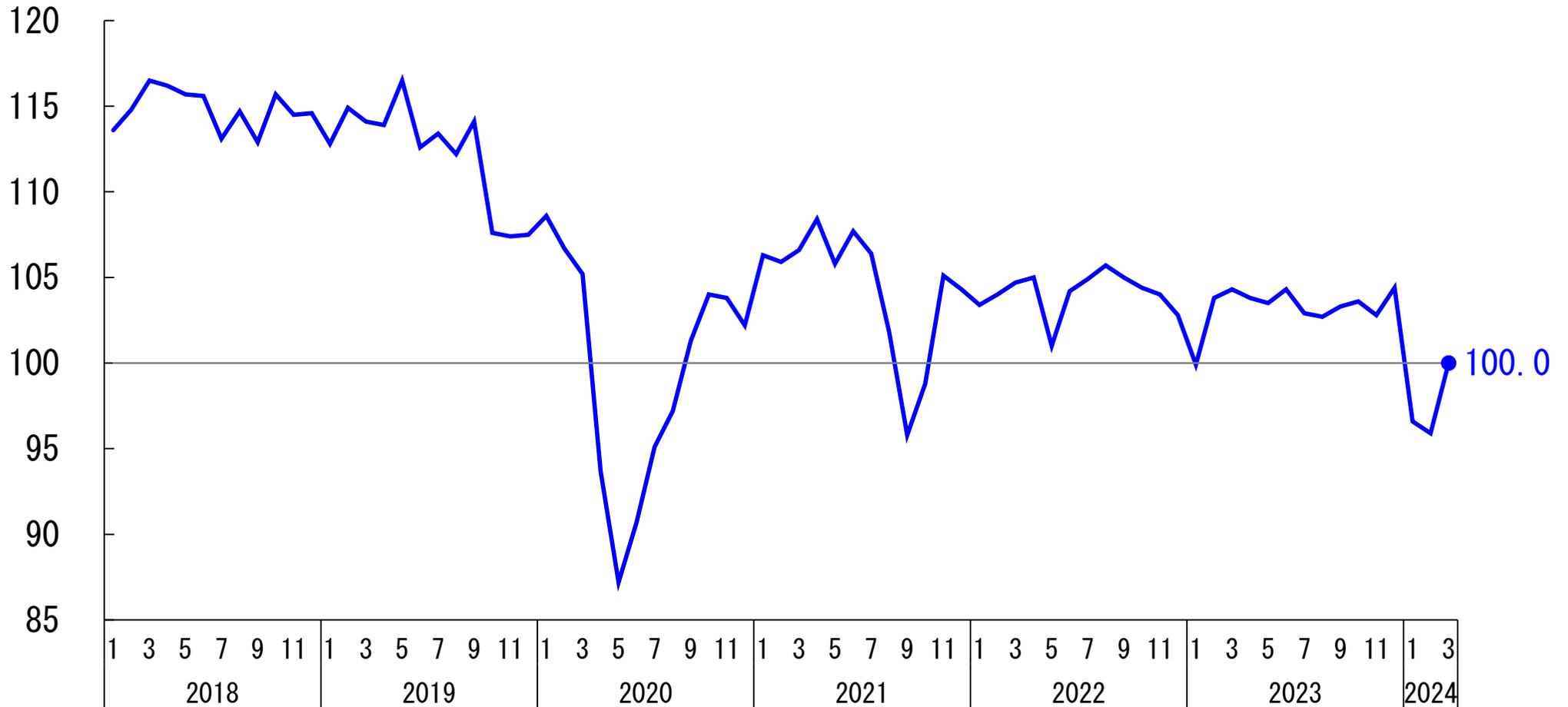
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



# 鋳工業出荷指数の動向

・ 2024年3月の鋳工業出荷指数は、100.0(前月比4.3%)と3か月ぶりの上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

# 2024年3月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2024年3月の鉱工業出荷指数は、100.0（前月比4.3%）と3か月ぶりの上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
<b>【上昇方向に寄与】</b> 鉱工業出荷を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	7.4%	1.12%pt
	品目	普通乗用車	6.6%	0.47%pt
		普通トラック	16.7%	0.16%pt
	2位の業種	生産用機械工業	11.2%	0.82%pt
	品目	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	476.7%	0.45%pt
		半導体製造装置	10.1%	0.26%pt
3位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	28.0%	0.57%pt	
品目	航空機用発動機部品	47.4%	0.26%pt	
	船用ディーゼル機関	28.3%	0.05%pt	
<b>【低下方向に寄与】</b> 鉱工業出荷を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	無機・有機化学工業	-2.4%	-0.12%pt
	品目	合成ゴム	-13.1%	-0.06%pt
		プロピレン	-10.2%	-0.04%pt
	2位の業種	電気・情報通信機械工業	-0.9%	-0.07%pt
	品目	リチウムイオン蓄電池	-21.7%	-0.17%pt
		ノート型パソコン	-13.7%	-0.06%pt
3位の業種	パルプ・紙・紙加工品工業	-1.3%	-0.03%pt	
品目	段ボール原紙	-3.3%	-0.02%pt	

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

## 2024年3月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目(財別)

	解説	品目名	前月比	寄与度
生産財	原材料として投入される製品	<b>生産財</b>	<b>2.4%</b>	<b>1.20%pt</b>
		航空機用発動機部品	47.4%	0.26%pt
		シャシー・車体部品	15.7%	0.15%pt
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	<b>資本財(除. 輸送機械)</b>	<b>7.7%</b>	<b>0.99%pt</b>
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	476.7%	0.45%pt
		一般用蒸気タービン	5,456.8%	0.42%pt
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	<b>非耐久消費財</b>	<b>2.7%</b>	<b>0.47%pt</b>
		灯油	22.5%	0.04%pt
		乳液・化粧水類	4.5%	0.04%pt
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	<b>耐久消費財</b>	<b>4.8%</b>	<b>0.44%pt</b>
		普通乗用車	6.6%	0.33%pt
		セパレート形エアコン	9.0%	0.06%pt
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	<b>建設財</b>	<b>-0.8%</b>	<b>-0.05%pt</b>
		セメント	-5.1%	-0.02%pt

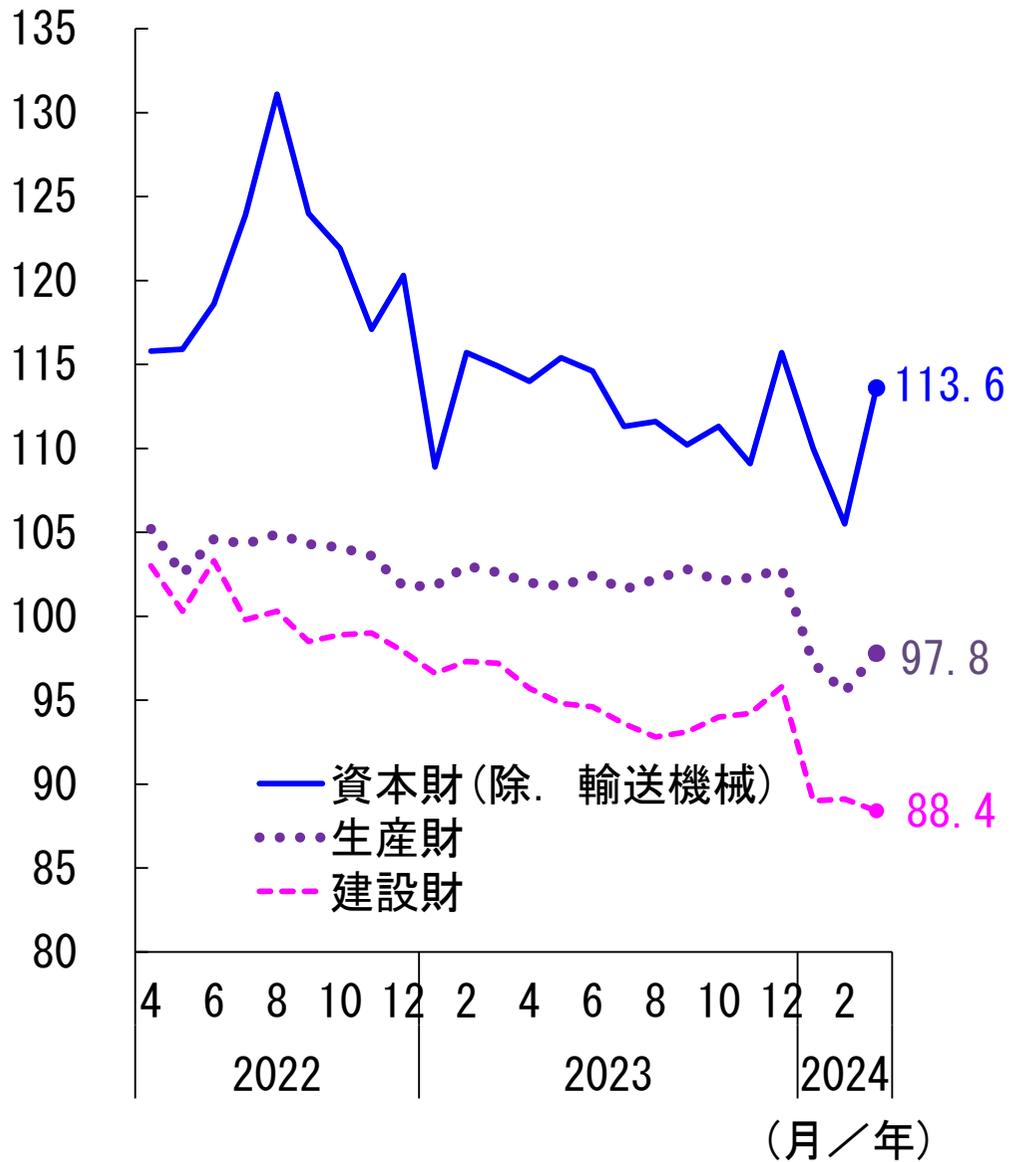
※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

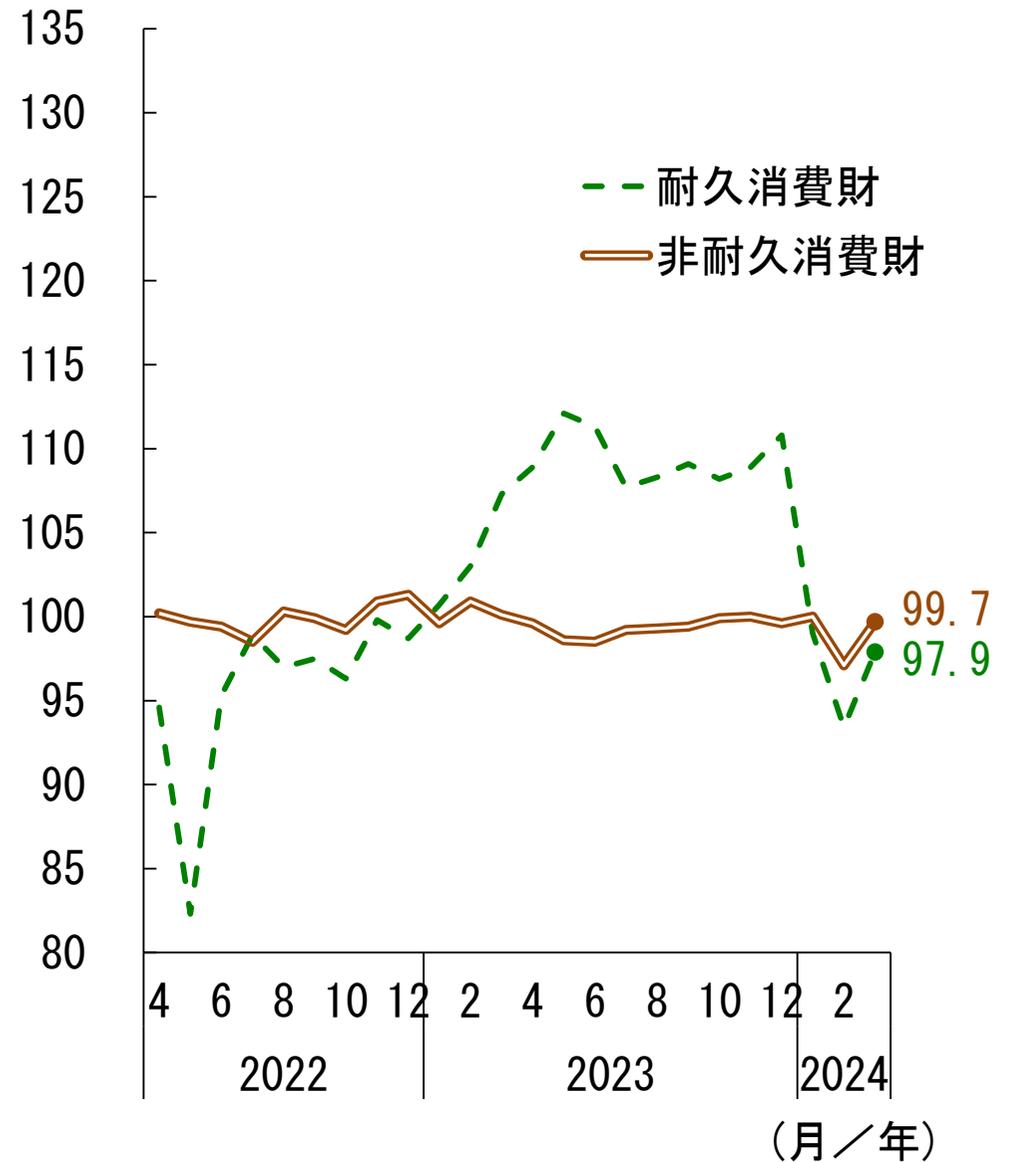
季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

# 財別出荷指数の動向

(2020年=100、季節調整済)



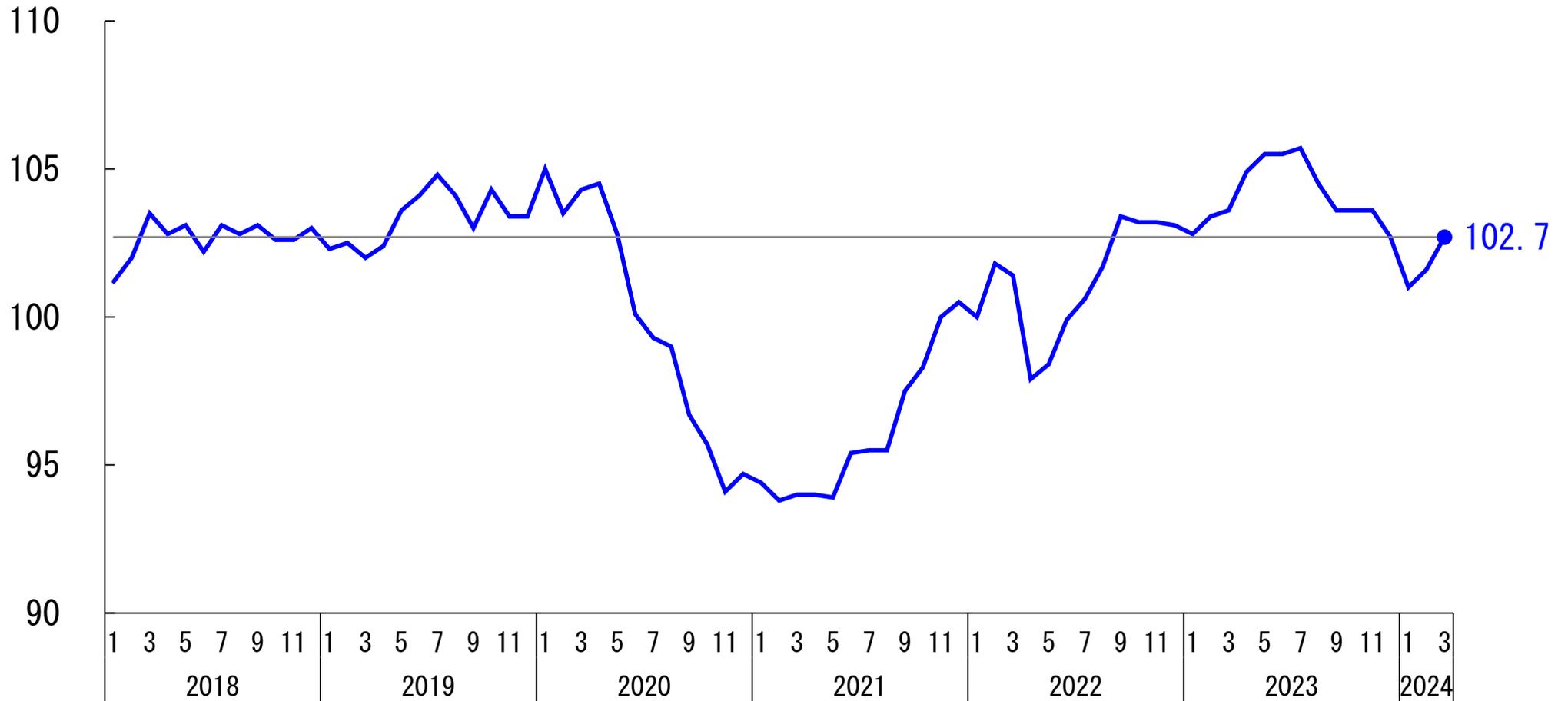
(2020年=100、季節調整済)



# 鋳工業在庫指数の動向

・ 2024年3月の鋳工業在庫指数は、102.7(前月比1.1%)と2か月連続の上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月/年)

# 2024年3月の鉱工業在庫指数を大きく動かした品目（業種別）

・ 2024年3月の鉱工業在庫指数は、102.7（前月比1.1%）と2か月連続の上昇。

		業種・品目名	前月比	寄与度
<b>【上昇方向に寄与】</b> 鉱工業在庫を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	生産用機械工業	4.3%	0.35%pt
	品目	建設用クレーン	27.2%	0.28%pt
		超硬工具	23.5%	0.23%pt
	2位の業種	無機・有機化学工業	1.6%	0.17%pt
	品目	合成ゴム	5.8%	0.12%pt
		ポリプロピレン	7.7%	0.09%pt
3位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	1.1%	0.17%pt	
品目	電気鋼	11.2%	0.06%pt	
	普通鋼鋼板	12.8%	0.06%pt	
<b>【低下方向に寄与】</b> 鉱工業在庫を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	金属製品工業	-1.7%	-0.08%pt
	品目	ガス温水給湯暖房機・風呂がま	-10.0%	-0.06%pt
		石油ストーブ	-8.7%	-0.04%pt
	2位の業種	石油・石炭製品工業	-0.6%	-0.03%pt
	品目	灯油	-26.6%	-0.17%pt
		ガソリン	-5.0%	-0.05%pt
3位の業種	輸送機械工業（除、自動車工業）	-8.9%	-0.02%pt	
品目	フォークリフトトラック	-14.3%	-0.02%pt	

※秘匿の関係で寄与度を表記できない品目を除いた中で、影響度の大きい品目を記載している。

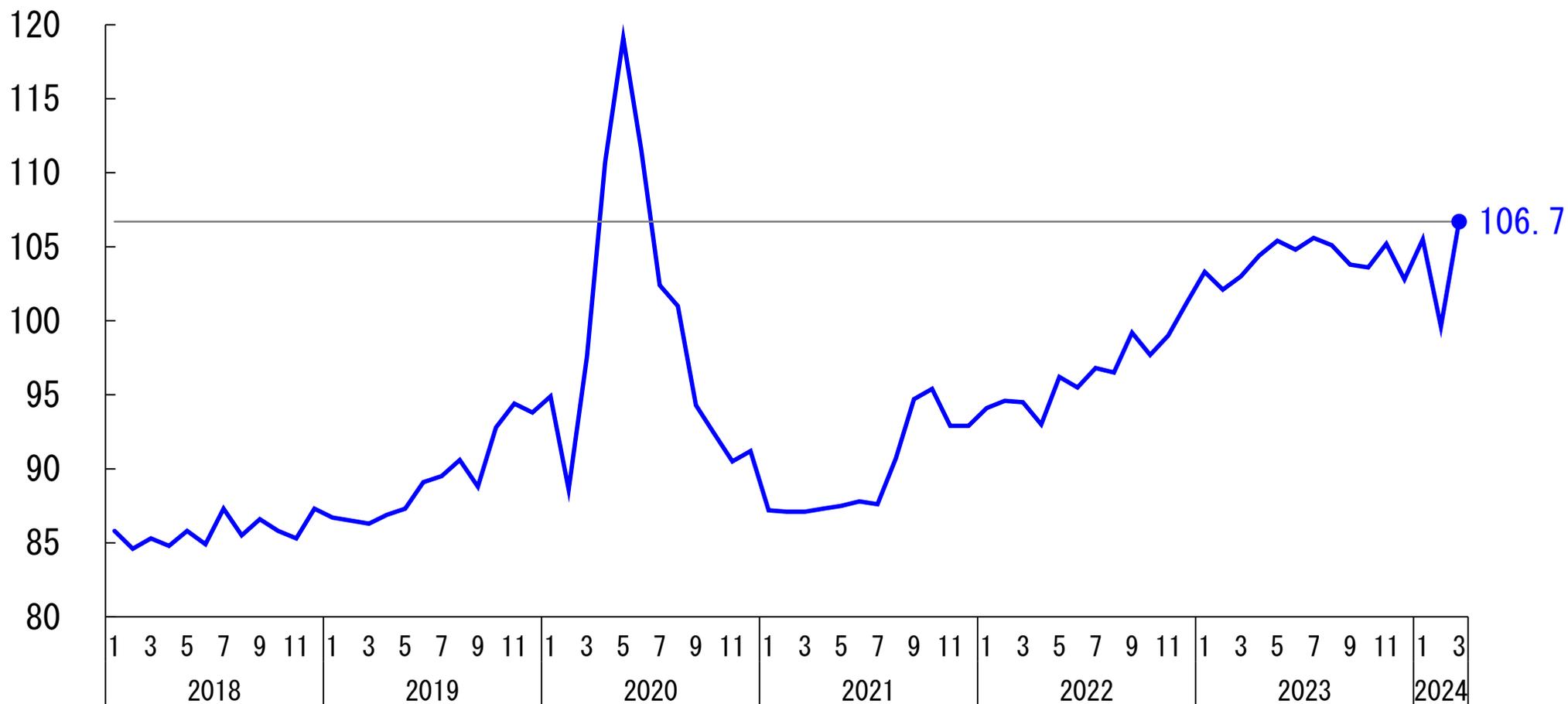
寄与度： 生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

季節調整の関係で、上昇業種と低下業種の合計は、全体の動きと一致しないことがある。

# 鋳工業在庫率指数の動向

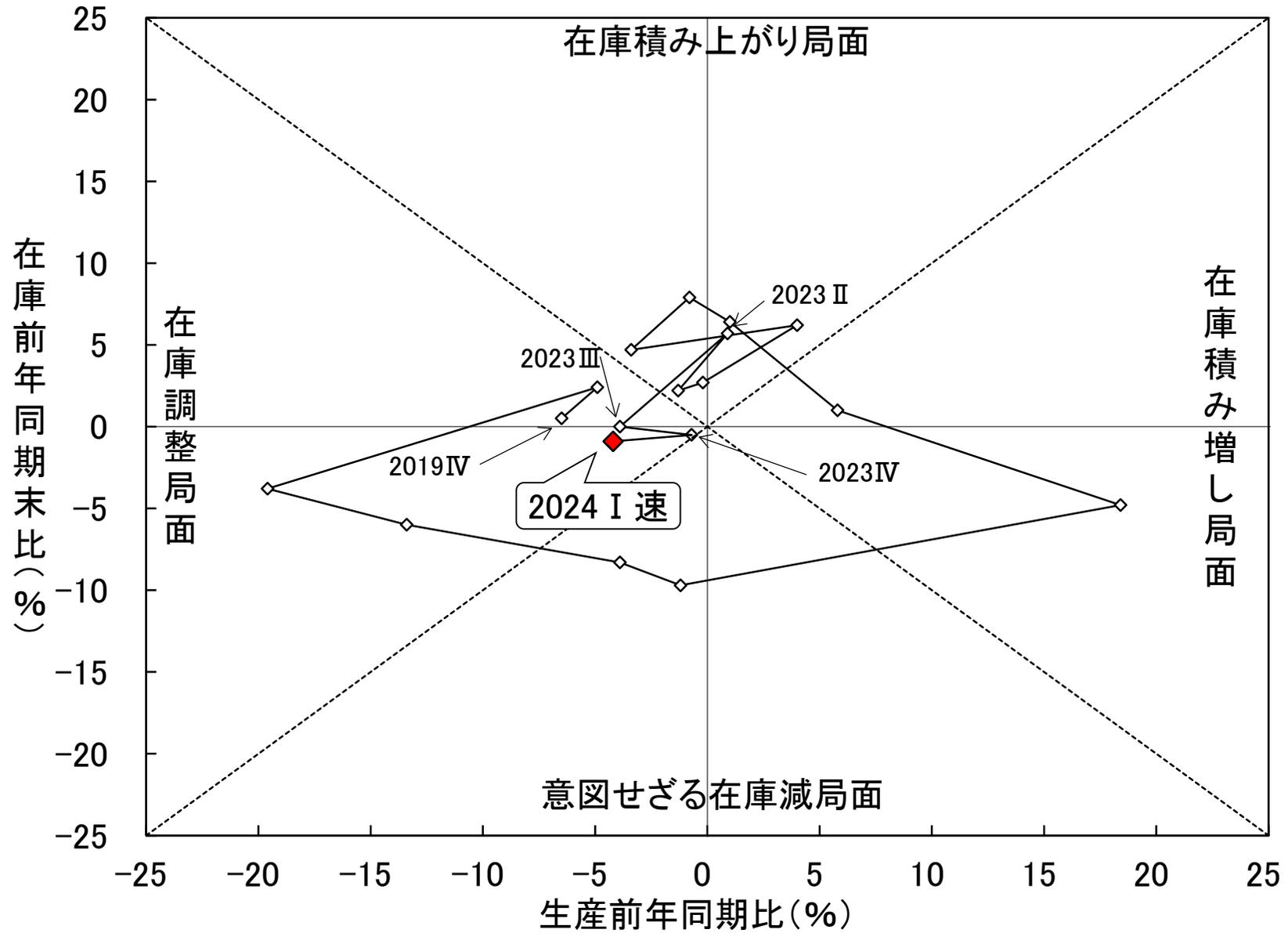
・ 2024年3月の鋳工業在庫率指数は、106.7(前月比7.1%)と2か月ぶりの上昇。

(2020年=100、季節調整済)



(月／年)

# 鋁工業の在庫循環図



# 製造工業生産予測指数 時系列

<製造工業>

2020年 = 100

年 月	季節調整済指数			前月比 (%)			実現率 (%)	予測修正率 (%)	
	前月実績	当月見込み	翌月見込み	前月実績	当月見込み	翌月見込み			
2023年	2月調査	100.7	108.7	106.8	▲ 4.5	7.9	▲ 1.7	▲ 6.1	▲ 2.8
	3月調査	106.0	106.3	112.9	5.3	0.3	6.2	▲ 2.5	▲ 0.5
	4月調査	106.4	110.5	110.7	0.4	3.9	0.2	0.1	▲ 2.1
	5月調査	106.0	109.9	108.4	▲ 0.4	3.7	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 0.7
	6月調査	104.1	107.3	108.5	▲ 1.8	3.1	1.1	▲ 5.3	▲ 1.0
	7月調査	105.5	107.2	109.0	1.3	1.6	1.7	▲ 1.7	▲ 1.2
	8月調査	104.0	107.2	107.0	▲ 1.4	3.1	▲ 0.2	▲ 3.0	▲ 1.7
	9月調査	103.5	106.8	110.7	▲ 0.5	3.2	3.7	▲ 3.5	▲ 0.2
	10月調査	105.8	109.7	107.9	2.2	3.7	▲ 1.6	▲ 0.9	▲ 0.9
	11月調査	106.6	107.5	110.2	0.8	0.8	2.5	▲ 2.8	▲ 0.4
	12月調査	104.7	110.1	103.7	▲ 1.8	5.2	▲ 5.8	▲ 2.6	▲ 0.1
2024年	1月調査	107.5	102.4	103.5	2.7	▲ 4.7	1.1	▲ 2.4	▲ 1.3
	2月調査	97.5	101.1	103.6	▲ 9.3	3.7	2.5	▲ 4.8	▲ 2.3
	3月調査	97.8	102.6	106.0	0.3	4.9	3.3	▲ 3.3	▲ 1.0
	4月調査	101.6	105.8	110.5	3.9	4.1	4.4	▲ 1.0	▲ 0.2

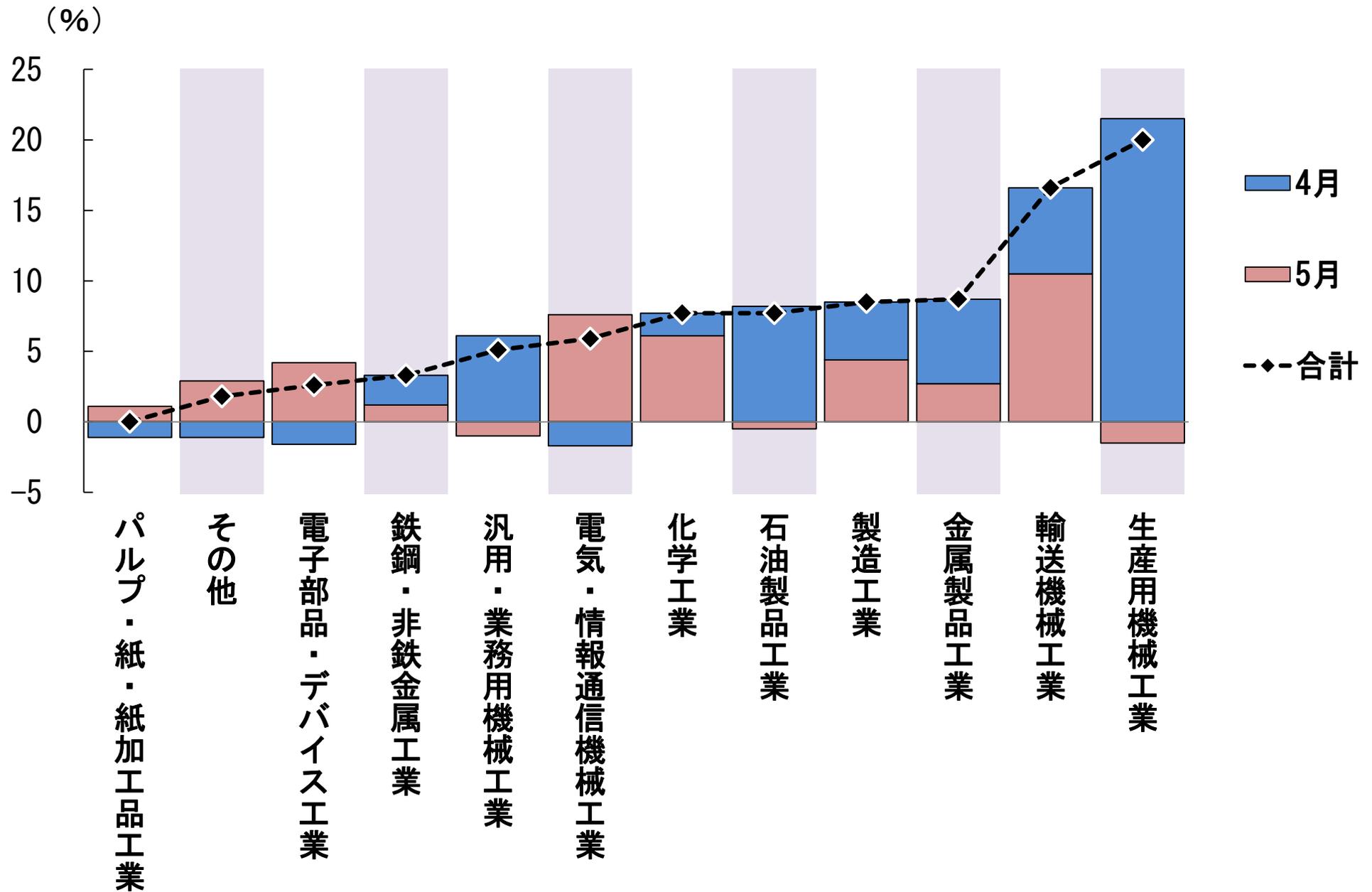
## 製造工業生産予測指数（当月、翌月の生産伸び率）

	3月調査 (前回)		4月調査 (今回)	4月調査 補正值
4月見込み	3.3%	⇒	4.1%	-1.0% (-2.9%~0.9%)
5月見込み	—		4.4%	—

### (参考) 前回調査の結果

	3月予測調査	3月補正值	実際の結果 鉱工業生産指数
3月前月比	4.9%	4.5% (3.7%~5.3%)	3.8%

## 2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



# 2024年4月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
生産用機械工業	21.5%	電気・情報通信機械工業	-1.7%	—	—
輸送機械工業	6.1%	電子部品・デバイス工業	-1.6%		
汎用・業務用機械工業	6.1%	その他	-1.1%		
金属製品工業	6.0%	パルプ・紙・紙加工品工業	-1.1%		
石油製品工業	8.2%				
化学工業	1.6%				
鉄鋼・非鉄金属工業	2.1%				

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

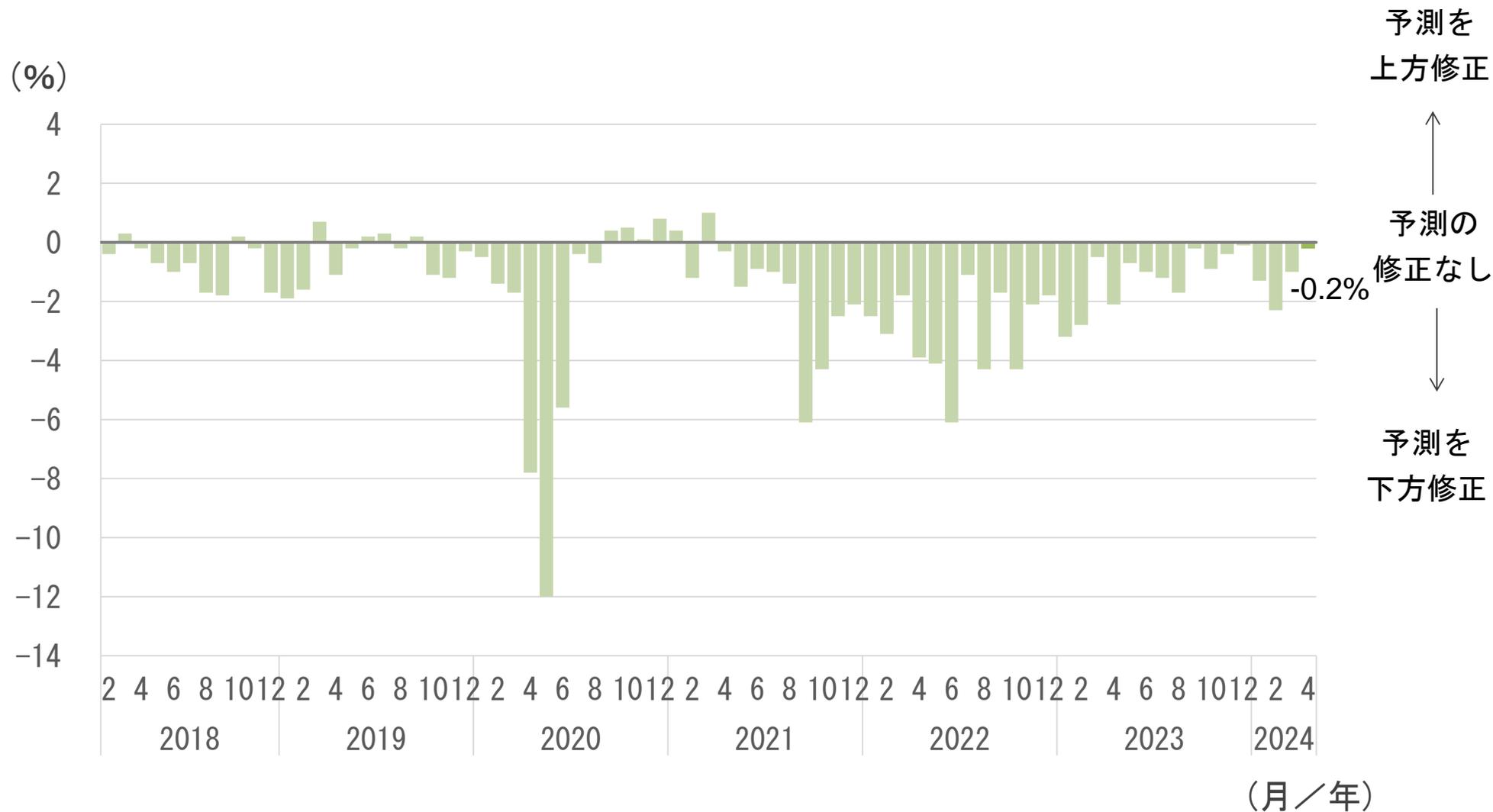
# 2024年5月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種		低下寄与業種		横ばいの業種	
業種名	計画前月比	業種名	計画前月比	業種名	計画前月比
輸送機械工業	10.5%	生産用機械工業	-1.5%	—	—
電気・情報通信機械工業	7.6%	汎用・業務用機械工業	-1.0%		
化学工業	6.1%	石油製品工業	-0.5%		
電子部品・デバイス工業	4.2%				
その他	2.9%				
金属製品工業	2.7%				
鉄鋼・非鉄金属工業	1.2%				
パルプ・紙・紙加工品工業	1.1%				

(注) 業種の並びは、寄与（影響度）が大きい順。

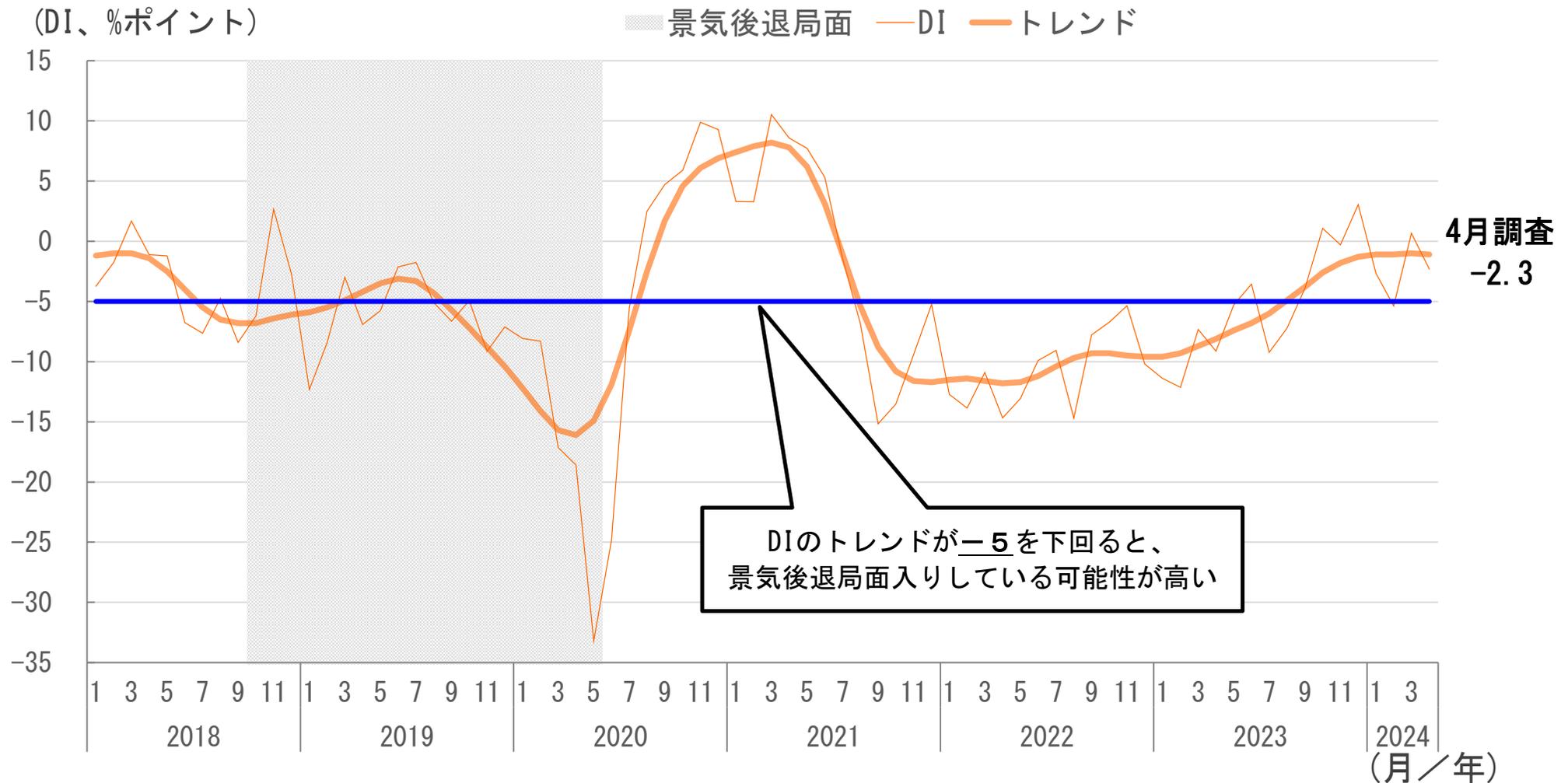
# 予測修正率の推移

- ・ 当月の生産計画が前回の生産計画からどの程度修正されたかを示したものが予測修正率となる。
- ・ 今回の調査では、予測修正率は-0.2%と低下。
- ・ 生産計画は37か月連続の下方修正となった。



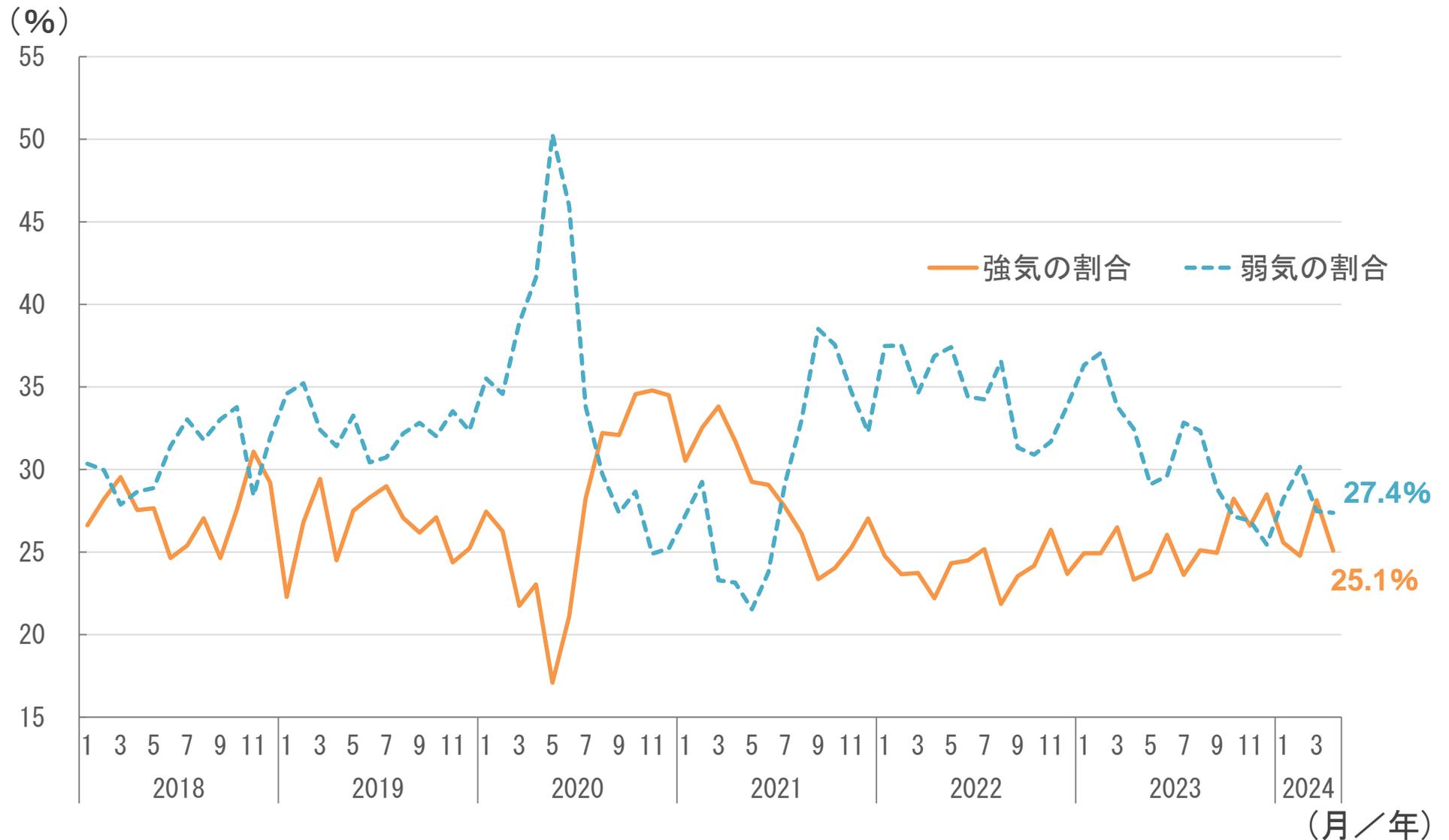
# 企業の生産活動に対する姿勢（生産活動マインド指標（DI））

- ・生産計画を上方修正している企業の割合から下方修正している企業の割合を差し引くことで企業の生産活動マインドを指標（DI）化。
- ・DIのトレンドが-5を下回ると景気後退局面入りの可能性が高い。
- ・4月調査結果のDIは、-2.3（前月の0.7から低下）、トレンドは-1.1と-5を上回る水準。



# 強気と弱気の比率の変化

・4月調査結果のDIの内訳をみると、強気が25.1%、弱気が27.4%となっている。3月と比べて強気の割合は減少し、弱気の割合は減少した。



# 2024年1～3月期(速報)各指数の状況

## 生産・出荷・在庫・在庫率指数

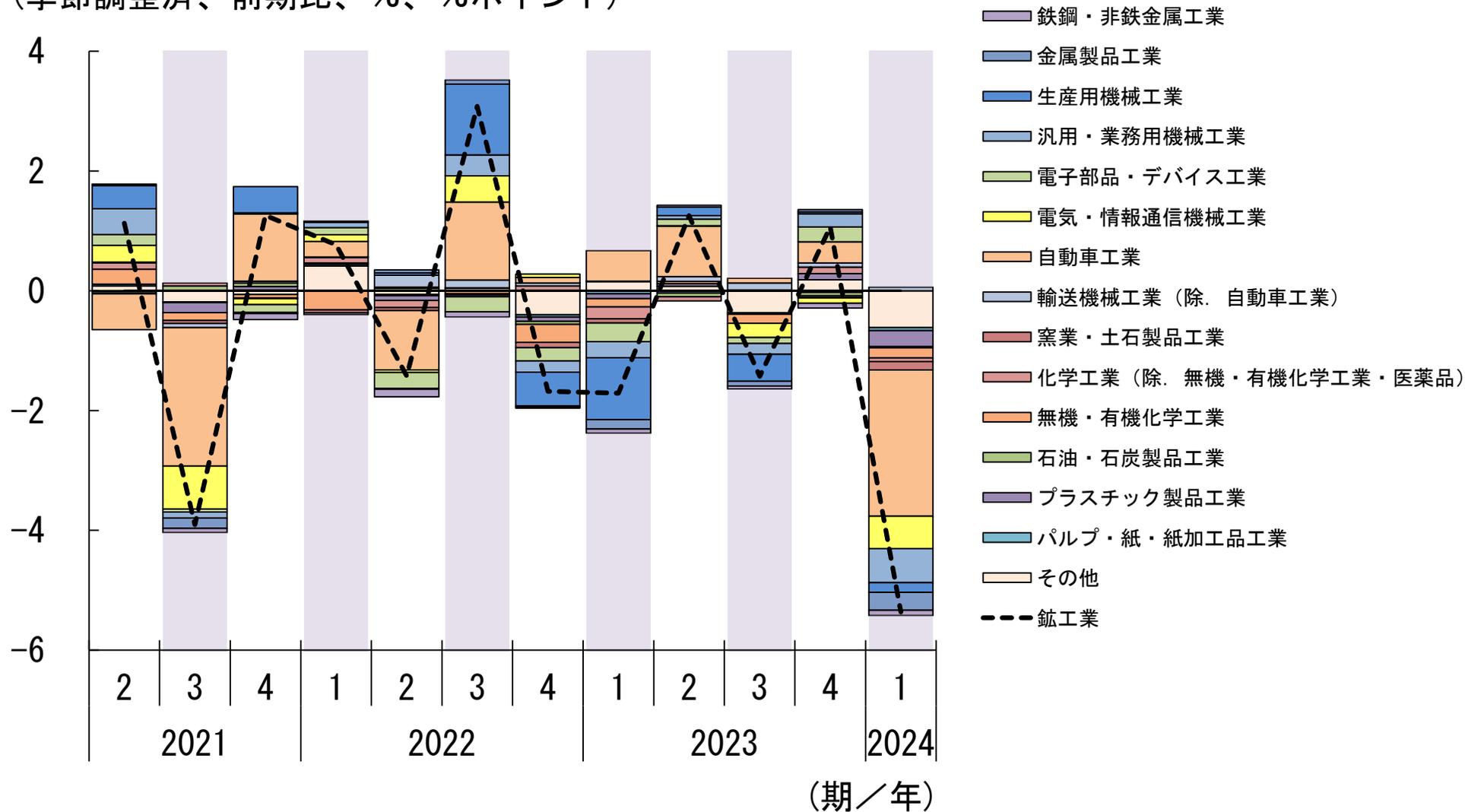
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.8	97.5	102.7	103.9
前期比	-5.4%	-5.9%	0.0%	0.0%
指数水準	2020Ⅲ 97.7以来 ①2020Ⅱ 90.7 ②2020Ⅲ 97.7 ③2024Ⅰ 98.8	2020Ⅱ 90.5以来 ①2020Ⅱ 90.5 ②2024Ⅰ 97.5 ③2020Ⅲ 97.9	—	—
前期比の動き	2期ぶり— (2023Ⅲ以来)	2期ぶり— (2023Ⅲ以来)	—	—
前期比幅	2020Ⅱ -15.1%以来 ①2020Ⅱ -15.1% ②2024Ⅰ -5.4% ③2019Ⅳ -4.1%	2020Ⅱ -15.3%以来 ①2020Ⅱ -15.3% ②2024Ⅰ -5.9% ③2021Ⅲ -5.6%	—	—
前年同期比(原指数)	-4.2%(99.6)	-4.7%(98.6)	-0.9%(99.7)	2.8%(106.2)
前年同期比の動き	3期連続— (2023Ⅲ～当期)	3期連続— (2023Ⅲ～当期)	2期連続— (2023Ⅳ～当期)	10期連続+ (2021Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2020Ⅲ -13.4%以来 ①2020Ⅱ -19.6% ②2020Ⅲ -13.4% ③2019Ⅳ -6.5%	2020Ⅲ -13.7%以来 ①2020Ⅱ -20.3% ②2020Ⅲ -13.7% ③2019Ⅳ -6.4%	2021Ⅱ -4.8%以来 ①2021Ⅰ -9.7% ②2020Ⅳ -8.3% ③2020Ⅲ -6.0%	2023Ⅳ 4.2%以来 Ⅰ2020Ⅱ 28.7% Ⅱ2020Ⅲ 11.2% Ⅲ2023Ⅱ 10.4%

1) Ⅰ～Ⅲは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・2024年1-3月期の生産指数は、輸送機械工業（除. 自動車工業）が上昇したものの、自動車工業などが低下したため、前期比-5.4%と低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



2023年度(速報)各指数の状況  
生産・出荷・在庫・在庫率指数

年度	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	102.8	102.0	99.7	104.7
前年度比	-2.0%	-1.6%	-0.9%	6.2%
指数水準	2020 99.7以来 ①2020 99.7 ②2023 102.8 ③2022 104.9	2020 99.7以来 ①2020 99.7 ②2023 102.0 ③2022 103.7	2021 98.4以来 ①2020 91.2 ②2021 98.4 ③2018 98.6	2020年基準最高水準 I 2023 104.7 II 2022 98.6 III 2020 98.1
前年度比の動き	2年度連続－ (2022～当年度)	2年度連続－ (2022～当年度)	3年度ぶり－ (2020以来)	2年度連続＋ (2022～当年度)
前年度比幅	2020 -9.5%以来 ①2020 -9.5% ②2019 -3.5% ③2023 -2.0%	2020 -9.7%以来 ①2020 -9.7% ②2019 -3.5% ③2023 -1.6%	2020 -9.7%以来 ①2020 -9.7% ②2023 -0.9% —	2022 7.5%以来 I 2022 7.5% II 2020 7.0% III 2019 6.8%

1) I～Ⅲは2020年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

# 鉱工業生産指数前年度比 業種別の影響度合い

・2023年度の生産指数は、自動車工業などが上昇したものの、生産用機械工業などが低下したため、前年度比-2.0%と低下。

(前年度比、%、%ポイント)

